

## 第6回 ポスト・コロナの市民連帯を展望する研究会

日時：2022年4月16日（土）13時30分～16時

場所：生活クラブ オルタナティブ生活館  
（新横浜駅下車徒歩13分）



※オンライン併用

講演：鳴海 美和子 さん ワーカーズコープセンター事業団  
神奈川事業本部 事務局長

<講演テーマ>

### 横浜寿町における福祉のまちづくりのチャレンジ —簡易宿泊所住人の金銭管理支援とデイサービス事業所立ち上げ—

ワーカーズコープセンター事業団神奈川県本部が、横浜市寿町の簡易宿泊所の一部を賃貸借して、小規模デイサービス事業を立ち上げた。開所は2021年11月27日。寿町は横浜の港湾労働者の居住区域として発展した。日雇労働者の町として昭和期の経済成長と共にあった町であるが、近年は高齢者の町と化している。寿町には約120軒の簡易宿泊所があり、そこに約6000人が生活している。高齢化率は約60%、住民の多くは独居の男性、その殆どが生活保護受給者だ。5年前に、生活保護受給者の一部、お金の管理が出来ない人の金銭管理（自立サポート事業）を受託することになった。その業務内容は多様だ。簡易宿泊所の管理者を「帳場さん」というそうだが、金銭管理支援には宿代（住宅扶助費で充当）の支払い代行もある。このような支援の日常から「デイサービス事業」の話へと発展したという。ワーカーズコープ神奈川県本部が、横浜寿町で、様々なステークホルダーと共に進めている福祉のまちづくりを、現場視点で報告いただき、今後の展望について伺う。



#### プロフィール

- ・2000年日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団に入団、神奈川事業本部に配属。川崎区内にて高齢者デイケアスタッフとして業務に従事。以後、川崎区内に訪問介護事業所を立ち上げ、所長を担う。
- ・その後、埼玉県で始まったアスポート事業（生活保護受給者の就労支援、住宅、学習支援）のセンター長を経て、神奈川県相模原市、横浜市、開成町等での生活保護者、困窮者の自立支援事業を立ち上げ、現在は就労や体験の場づくりを行っている。
- ・2020年12月に労働者協同組合法が制定された。ワーカーズコープセンター事業団は、持続可能な循環型地域づくり協同組合福祉拠点（みんなのおうち）を市民と共に実践している。地域の願いを、協働労働で実践・実現していく試みに更にチャレンジしていきたいと考えている。

### <お申込み>

下記フォームから申し込みください。右のQRコードからもお申込みいただけます。  
会場参加をご希望の方は、かながわ生き生き市民基金までご連絡ください。

<https://forms.gle/X8Vz3SfgmwoaE8rE8>

主催・お問い合わせ：公益財団法人かながわ生き生き市民基金

TEL 045-620-9044

MAIL [info@lively-citizens-fund.org](mailto:info@lively-citizens-fund.org)

